

中間前払金認定例

様式第10号の3 (工事履行報告書)

工 事 履 行 報 告 書			
工 事 名	○○○○○○○○○○○○○○○○工事		
工 期	平成27年 7月15日から 平成28年 3月15日まで		
受 注 者	○○ 会社		
日 付	平成 年 月 日 (12月分)		
月 別	予定工程 % ()は工程変更後	実施工程 %	
27年 7月	0% ()	0%	準備工
8月	0% ()	0%	準備工
9月	18.3% ()	12.10%	準備・仮設・護岸工
10月	36.8% ()	25.2%	仮設・護岸工
11月	78.5% ()	41.5%	仮設・護岸工・擁壁
12月	100% (60%)	51.6%	仮設・護岸工
28年 月			


※手続きを簡素化するには本例のように月報で提出されていることが条件となります。

月例で提出された直近の履行報告書で、監督職員から確認を受けていれば、以下の通り中間前払金請求書に添付していた書類を簡素化する。

従前の添付書類
「履行報告書」+「工程表」+「工事内訳書」

↓

改正後(1月1日以降)の添付書類
「履行報告書」+「工程表」のみ

監督職員 	現 場 代 理 人	主任(監理) 技 術 者

確認印必要

- 備考 1 報告は、月報を標準とする。
2 予定工程は、完成までの予定出来高比率の累計を記入すること。
3 実施工程は、当該報告月までの出来高比率の累計を記入すること。

※参考【中間前払金】
鶴岡市建設工事請負契約約款 第36条 (抜粋)による支払い条件
(1) 工期の2分の1を経過していること。
(2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
(3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負代金額の2分の1以上の額に相当するものであること。